

第4章 県政への自由意見について

県に力を入れてほしいことや、県が取り組むべきだと思うことについて、何でもお気軽にお聞かせください。(問5)

【集計の方法】

回答を内容によりA～Nの14項目に分類した。同一の回答者が複数の意見を記入している場合には、項目を分けて別意見として扱っている。

1 自由意見の項目別件数

項番	項 目	件数
A	商工業・雇用・労働に関すること	130
B	農林水産業に関すること	55
C	観光に関すること	27
D	文化・スポーツに関すること	39
E	道路・交通ネットワークに関すること	58
F	移住・定住に関すること	36
G	結婚・出産・子育てに関すること	111
H	女性・若者の活躍に関すること	43
I	地域社会の維持・活性化に関すること	35
J	健康・医療・福祉に関すること	77
K	教育・人づくりに関すること	45
L	防災減災に関すること	4
M	生活環境・自然環境に関すること	53
N	県政全般に対する意見・その他	376
合 計		1,089

2 主な自由意見

777 人から 1,089 件の意見があり、一部を抜粋して掲載する。なお、誤字等は校正しているため、掲載文は回答の原文とは異なる場合がある。

A. 商工業・雇用・労働に関すること

- 働きたくてもブランクを気にしている方がいると思うので、事情により一定期間働いていない人が気にせず働ける会社が必要だと思う。また、数時間だけ働くなど、少しずつ社会復帰できる場所を作ってほしい。(女性／30 歳代／由利地域)
- 会社を経営しているが、経営側も労働者側も昨今の物価高騰により大変苦しい生活を送っている。中小企業とそこで働く労働者へ大きな支援をお願いしたい。(男性／30 歳代／仙北地域)
- 物価高が続く中、賃上げがないと子どもを育てるのが困難になるし、結婚をしても子どもを産もうという気持ちになれない。とにかく賃上げが大事だと思う。(男性／30 歳代／仙北地域)
- やりがいのある仕事、それに見合った賃金、地域貢献ができる環境があればいいと思う。(女性／40 歳代／秋田地域)
- 早急に建設業の人員確保に取り組み、現在働いている人の負担を少しでも軽減して、働きやすい職場になるようにしてほしい。(男性／40 歳代／秋田地域)
- まずは、秋田県の最低賃金を全国ワーストから改善してほしい。県民の生活が潤っていなければ県としての経済活性化もないのではないかと。(女性／40 歳代／秋田地域)
- 中小企業の職場で働いているが、働き方改革が中小企業まで行き届いていない。また、有給休暇も、業務量が多いため自由に取れる雰囲気ではない。(女性／40 歳代／秋田地域)
- 女性人口が減っているので、女性にも選ばれる県になるべく、スキルのある女性に残ってもらえる・来てもらえるような、魅力のある企業が増えるよう取り組んでほしい。(女性／40 歳代／山本地域)
- 若者に人気の高い職種の大企業を誘致し、県内への定着を促進してほしい。(女性／40 歳代／平鹿地域)

- 高校を卒業した後、県外へ進学・就職することは、本人の意思なので止めることはできない。ただし、帰ってきたいと思わせる秋田県を作るのは今の大人の責任だと思う。秋田にしながら安心した生活を送ることができれば、東京のみならず全国へ遊びに行くことができるようになることから、賃金が上がり、また、交通機関が充実すればいいのではないかと思う。(女性／50 歳代／北秋田地域)
- 秋田は土地も人件費も安く、また、海外の工場を国内に戻す下地は整ってきていると思うので、工場の国内回帰を進めるための制度設計や支援体制を整えてもらいたい。(男性／50 歳代／由利地域)
- 高齢者の働き場所を確保してほしい。働く意思のある人が生涯働ける環境が必要だと思う。(男性／60 歳代／秋田地域)
- 製造業等について高齢化に伴い廃業が進んでおり、長年培ってきた技術・伝統がなくなってしまう。地元の財産を守る取組や更に発展させていく取組が必要ではないか。(女性／70 歳以上／雄勝地域)

B. 農林水産業に関すること

- 米や作物が不足していることよりも、まずは後継者不足が問題だと思う。農業の利益がもっと上がれば、若者も農業を仕事として選ぶのではないか。(女性／30 歳代／秋田地域)
- 秋田の食料自給率の高さは強みだと思う。ただ、高齢の方が支えてきた結果なので、全国の若い世代が農業をやりたいと秋田に集まるように環境を整えてほしい。(女性／40 歳代／秋田地域)
- 秋田県には美味しい空気、水、自然があり恵まれていると思う。美味しい米をもっとたくさん作るための道筋づくりをするのが県の仕事なのではないか。(その他／50 歳代／鹿角地域)
- 秋田はいいものがあるのに、PR が下手だと思う。一次産業を中心とした発展と、人を呼び込むことに力を入れてほしい。(女性／50 歳代／北秋田地域)
- 基幹産業である農業を充実させ、六次産業化を図り、地元根づく会社を育てるべきではないか。(男性／70 歳以上／秋田地域)
- スマート農業の拡大に助成金や補助金があると若い世代もやる気が出るのではないか。(男性／70 歳以上／仙北地域)

C. 観光に関すること

- 都会に比べて空いている美しい観光地は魅力的だと感じるので、大勢に来てもらうのではなく、単価の高い限定サービスを富裕層に提供できるといいのではないか。(男性／50 歳代／由利地域)
- 東北の各県と比較して、秋田県に行ったことがない人が多くいると思うので、「今年は秋田に行こう」と思ってくれる方が増えるよう、もっとたくさんPRしてほしい。(女性／60 歳代／秋田地域)
- 台湾のチャーター便など海外向けのPRもいいと思うが、もっと県外からの誘客を拡大できるよう国内向けにもPRしてほしい。(女性／70 歳以上／秋田地域)

D. 文化・スポーツに関すること

- 秋田県の美味しい食べ物や名産品などを全国にもっとアピールして、地域経済を活性化してもらいたい。(その他／40 歳代／平鹿地域)
- 伝統工芸の継承、存続に関する援助が不十分に感じる。また、それを県の魅力として国内外にPRする方法も工夫の余地を感じる。それぞれの分野に精通する方々が沢山いるのだから、つながって協力し合えばより良い県になるのではないかと。(女性／40 歳代／秋田地域)
- 新しいサッカースタジアム建設の後押しもお願いする。どうしたら建設できるのか、市やクラブブリッツと共に考えてほしい。(女性／60 歳代／秋田地域)
- 60 歳以上の人たちの健康のためにスポーツや軽い運動などを自由にできる施設があるといいと思う。(女性／70 歳以上／平鹿地域)

E. 道路・交通ネットワークに関すること

- 他県から秋田へのアクセスが非常に悪いため、もっとアクセスしやすいようにしてほしい。(女性／30 歳代／秋田地域)
- 災害が多いため、少しでも安心して住めるように交通網整備に尽力してほしい。(女性／40 歳代／雄勝地域)
- 都心部へのアクセスについて、利便性向上と低価格化により、秋田は住むところ、都心部は遊びに行くところという認識になるよう取り組んでほしい。(女性／50 歳代／秋田地域)

- 自動運転車両の実現に向けた取組とテストケースを増やしてほしい。また、食料の購入や通院等の際の移動手段（コミュニティバス等）について実験・検討してほしい。（男性／60 歳代／秋田地域）
- 最近道路の穴が目立つと感じており、埋めてもまたすぐ掘れてしまうように思う。また、避けて運転する車も見かけるが、危険に感じることもある。（男性／60 歳代／北秋田地域）
- 秋田市に気軽に行ける高速バスの運営に力を入れてほしい。鹿角市から秋田市は距離があるが、さまざまな講習が主に秋田市で行われるため、高速バスがあれば助かるし、買いものもできて良いと思う。鹿角市から盛岡市に行く人が多いため、秋田市を身近に感じられるような取組を行ってほしい。（女性／60 歳代／鹿角地域）

F. 移住・定住に関すること

- 県内の小・中・高校生が就職などで出ていく前に、地域に興味を持ったり、地域とつながるきっかけが作れる取組があればいいと思う。秋田愛を育んでほしい。（女性／10 歳代／北秋田地域）
- 移住者に手厚いのはいいと思うが、秋田県から離れずに頑張っている若者等へも移住者同様の補助や支援があってもいいのではないか。（男性／30 歳代／仙北地域）
- 若者が他県へ移住してしまう理由を真摯に受け止め、改善することに力を入れてほしい。（男性／30 歳代／雄勝地域）
- 県外に出た若者世代にとって、秋田に戻るメリットがあまりないように感じるので、秋田に人が定着するような政策を実施してほしい。（女性／40 歳代／秋田地域）

G. 結婚・出産・子育てに関すること

- 出かけ先で子どものオムツ交換をする時、女性側にオムツ交換台があるのに男性側には無いことが多いため、つけてほしい。（女性／20 歳代／由利地域）
- 子どもが楽しく遊べる場所が増えてほしい。（女性／30 歳代／雄勝地域）
- 子どもが大きくなるにつれて、遊べる環境が少ないことに気付いた。のびのびと遊べる環境が少なく、雨が降ると遊べる場所がないに等しいと感じる。（女性／30 歳代／秋田地域）
- 雨が降った休日に、小さい子どもを連れて行ってあげられる場所がない。商業施設の空きスペース等を県がかけあって、公園のような子どもが遊べるスペースにしてもらえたら子育てしている身としてはとてもありがたい。（女性／30 歳代／仙北地域）

- 出産、育児支援が重要であり、病児保育の体制を整えれば、親世代は安心して仕事もできるし、出生率も上がるのではないか。(女性／40 歳代／秋田地域)
- 国の少子化対策として、不妊治療など制度は充実しつつあるが、治療に伴う福利厚生的な配慮のある職場は実際には少ないと思う。妊娠可能年齢の方で不妊治療に臨む方には、もっと柔軟な働き方をして、妊活を優先できたら安心できると感じる。(女性／50 歳代／仙北地域)
- もっと男女の出会いや結婚等について真剣に考え、取り組んでほしい。(男性／50 歳代／仙北地域)
- 雨天時でも思いきり動いて遊べるような施設があると良いと思う。他県からも人を呼び込めるような施設だと、活性化にもつながるのではないか。(女性／50 歳代／北秋田地域)
- 仕事を休めない人はたくさんいるので、市や町が一体となり、子どもの一時預かりがどんなときでも利用できる体制を構築するべきだと思う。(男性／60 歳代／雄勝地域)
- 小さな子に対する支援はおおむね実施されていると思うが、一番お金のかかる高校生・大学生の支援は少ないと感じる。今後社会に出て秋田を背負う中学生・高校生をもう少し大事に扱ってほしい。(女性／60 歳代／秋田地域)
- 産後ケアや分娩費の無償化はとても大切なことだが、その前に「幸せな分娩体験」をさせてあげる医療現場の改善こそが大切で目を向けてほしいと思う。産科病棟の閉鎖やクリニックの閉院が起きている状況が続くようでは豊かな社会づくりは難しいのではないか。(女性／60 歳代／雄勝地域)

H. 女性・若者の活躍に関すること

- 「男は仕事、女は家庭」というのをよく聞くが、今は女性も仕事をしたい、活躍したいという人が多い。妊娠のタイミングで仕事を諦めてしまう女性も少なくないため、家庭持ちの女性でも働きやすく戻りやすい、活躍できる環境を増やしてほしい。(女性／20 歳代／仙北地域)
- 女性の活躍を推進するためには、男性の積極的な家事や育児への参画が必要だと思う。遊んで終わる育休の取得ではなく、実際に産後の妻の代わりになんでもこなすという意識作りを学校や会社でしてもらいたい。家事は女性がやるものという、古い考えを根絶しなければ、子供を持つという気持ちにはなれないと思う。(女性／30 歳代／仙北地域)
- 若い世代が、秋田にいても何の仕事でもできる、何者にでもなれると感じられるように、秋田がよいと思える取組をし、仕組みをつくり、また、教育をしていかなければ、人口はますます減っていくと思う。(女性／40 歳代／秋田地域)

- これまでの地域活性化の成功事例を見ると、人が人を呼ぶサイクルがうねりとなって周りを巻き込んでいく形となっている。県をはじめ、県内基礎自治体において、次の時代を担う若者がチャレンジできる環境整備に取り組んでほしい。(男性／50 歳代／北秋田地域)

I. 地域社会の維持・活性化に関すること

- 将来を見据えて県全体のあり方を見直し、少しでも暮らしやすいように方策を講じてほしい。(男性／60 歳代／秋田地域)
- 各地域が一体となり、東北六魂祭のような秋田の祭りを持ち回りで実施するなど、地域の祭りと一体となり秋田を盛り上げてほしい。(男性／60 歳代／由利地域)
- コロナ前は敬老会や住民運動会など地域の関わりがあったが、コロナが落ち着いても、再び開催されることがなく残念である。人と人との関わりが少なくなっているので、皆が協力し内容を変えるなど、工夫してやってほしいと思う。(男性／60 歳代／雄勝地域)
- 子ども達と高齢者が接点をもって楽しめる施設（カフェ）のような場所が必要だと思う。(女性／70 歳以上／平鹿地域)

J. 健康・医療・福祉に関すること

- 秋田県内でも、中央と県北では格差がある。県北の医療について、利便性を拡大してほしい。(女性／40 歳代／北秋田地域)
- 高齢化が進む中、介護の問題が出てくると思うが、介護職員の賃金を見直すなどして人員を確保し、人手不足にならないように取り組んでほしい。(女性／40 歳代／由利地域)
- 「老後は秋田へ移住」というイメージとともに国内外から移住者が訪れるように介護福祉の充実を図ってはどうか。祖父母等が移住すると、子どもたちが秋田を訪れると思う。(男性／40 歳代／秋田地域)
- 高齢化が更に進むので、必要な医療を誰でも受けられるような体制が整備されれば、安心して生活できるようになると思う。(男性／40 歳代／秋田地域)
- 高齢者にわかりやすい老後サービスや退職者雇用の充実を図り、セカンドライフにおける職業の選択肢の多様化を図ってほしい。(男性／50 歳代／秋田地域)
- 大きな病院では予約がないと診てもらえず困った経験が多々あるので、いざという時の病院の診療体制の強化に取り組んでほしい。(女性／60 歳代／北秋田地域)

M. 生活環境・自然環境に関すること

- 風力発電は、必要だから増えていると思うので仕方ないが、増えすぎてどこへ行っても同じ景色になったので景観を損ねている気がする。また、羽根が折れる事故があったので安全面がとても不安。これからも増やしていくのであれば、安全性が保たれていることを県民にしっかり伝える必要があると思う。(女性／30 歳代／山本地域)
- クマ対策を徹底してほしい。獣害が原因で、見えない収益低下や県民の運動不足等の問題が発生していると思う。(男性／40 歳代／鹿角地域)
- 水道管などのインフラ設備の老朽化対策を行ってほしい。(女性／40 歳代／平鹿地域)
- 電気料金が高いので、風力・水力発電や太陽光発電に力を入れてほしい。(男性／40 歳代／仙北地域)
- 雪が溶けると道路脇のゴミが目立つ。自分たちの町をきれいにするように市民に周知してほしい。(女性／60 歳代／由利地域)

N. 県政全般に対する意見・その他

- 進学等で県外に一度出た人が、卒業後また秋田県に戻ってきたいと思えるような取組をしてほしい。(男性／20 歳代／雄勝地域)
- 県内には働く場所がないから秋田に残らないとか、何もないから出ていくという人が非常に多いように感じる。これからの秋田には働ける場所を増やす取組や、少子高齢化により必要性が増している介護職などの待遇を良くするなど、若者が惹かれるような取組をしてほしい。(男性／20 歳代／北秋田地域)
- 自然や食べ物、温泉、秋田美人など、全国・世界にアピールできる素敵なものがたくさんあるのに、生かしきれていないのが本当に残念である。(女性／20 歳代／秋田地域)
- 人口が減少し、現在人が住んでいる全ての範囲のインフラの修復や除雪は困難になっていくと思う。可能であれば、人が住む範囲を少しずつその地域の中心に集約するなどして、インフラや除雪、交通を維持していく必要があると思う。(男性／30 歳代／秋田地域)
- 県民意識調査で意見を聞く前に、県が何に力を入れて、何を県民と一緒に良くしていきたいのか、その情報発信に力を入れてほしい。(男性／30 歳代／秋田地域)

- 秋田の魅力を知ってもらうための県外向けの情報発信はとても重要なことであるが、それと同時に、秋田県民への情報発信が行われなければ、どのような政策・取組も成功しないと思う。
(男性／30 歳代／秋田地域)
- 色々と一度に手を広げすぎて、県民が恩恵や実感を得られない状態になっていると思う。県民の大多数が恩恵や実感を得られるものを優先して取り組んだ方が良いのではないか。(男性／40 歳代／平鹿地域)
- 県へ意見を書くのは言葉を選んでしまい、本音が伝えづらい部分がある。直接、対面で言葉を交わした方が思いを伝えられると思うので、そういった機会を作してほしい。(男性／40 歳代／山本地域)
- 秋田県には「何もない」と県民が口にしていることが大問題である。国内外に誇れる自然と観光資源、伝統文化、農産品、水産品、畜産品、食文化等があるので、しっかりと売り出してほしい。(女性／40 歳代／秋田地域)
- 秋田が元気になるためには、県民が一丸となることが大事だと思う。若者が帰りたくなる秋田、また、県外から見て「秋田はいいな」と思える魅力発信をしたい。魅力はたくさんあるので、いかに話題性をつくるかも大事だと思う。(女性／50 歳代／秋田地域)
- 行政で取り組んでいることが県民全体に伝わっていないと思う。もっと「これをやっています」というアピールを何度も繰り返し発信してほしい。(男性／50 歳代／仙北地域)
- 具体的な手法は浮かばないが、秋田のイメージを変える意識改革が必要だと思う。(女性／50 歳代／仙北地域)
- 広く県民の声に耳を傾けてほしい。(女性／50 歳代／秋田地域)
- 県の広報活動は量的には十分と感じるが、それが興味を引くものでないと受け手には届かない。興味を持って受け止められるような発信方法の工夫が必要ではないか。(女性／50 歳代／秋田地域)
- 努力しているとは思いますが結果が出ていないと感じる。現在のやり方で結果が出ないのであれば別の方法を複数考えて実施してみてはどうか。(男性／50 歳代／仙北地域)
- アンケートも重要だが、県の運営に関わっている職員がどうしたいかをわかりやすく発信することも重要だと思う。(男性／50 歳代／由利地域)
- 県の政策について、1 年ごとの目標や目玉政策、スローガン等を示して県民を鼓舞してほしい。また、年度末には、成功しても失敗しても反省点を洗い出し、いかにして次に生かすのか、県民に知らせてほしい。(女性／60 歳代／仙北地域)

- 県民の意見が言える「投書箱」のようなものを整備してほしい。(男性／60 歳代／秋田地域)
- 県の取組について、今回の県民意識調査で具体的な数値が示されたことにより初めて知ることが多くあった。取り組んでいることが分かるように広く県民に示してほしいと思う。(男性／70 歳以上／秋田地域)
- 秋田県民の意識改革も必要。秋田には何もないと嘆くのではなく、ないのなら自分達で作ればいいし、県がそういう人達に手を貸すことができれば、もっと良い何かが生まれてくるのではないか。(女性／70 歳以上／平鹿地域)

